



2025 年度

医学部医学科 学生募集要項

東京慈恵会医科大学

今後、記載した内容の変更、追加情報などが生じる場合があります。
更新した情報は適宜大学ホームページ上でお知らせします。

目 次

1. アドミッションポリシー	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	2
4. 出願手続及び出願期間等	2
5. 入学検定料	2
6. 出願書類	3
7. 受験票	4
8. 一次試験	4
9. 一次試験合格発表	6
10. 二次試験	6
11. 二次試験合格発表	7
12. 感染症等への対応について	7
13. 不測の事態が発生した場合の連絡について	7
14. 入学手続	7
15. 個人情報の取扱いについて	8
16. 2年次以降各年度の納入金	8
17. 特待生制度	8
18. 奨学金制度	9
19. カリキュラムポリシーとディプロマポリシー	9
20. 二次試験で求めるもの	11
21. 過去3年間の入学試験の結果	11
22. 試験会場の案内図	12

医学科教育理念：—医学は学と術と道とより成る—

知識、技術、心の修練により人類の健康と福祉を求めてやまない良医、すなわち建学の精神
「病気を診ずして病人を診よ」を体現する医師を育てる

1. アドミッションポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

本学の建学の精神および医学科教育理念に基づき、医学科アドミッションポリシーを以下に定めます。

◆ 求める学生像

カリキュラムポリシーに則った教育課程を通して、ディプロマポリシーに示す資質と能力を卒業時まで獲得できる学生として、次のような力を日々の多様な学習と経験の中から、主体的に身に付けてきた人の入学を求めます。

- 1) 自らを省察して、多様な人の情緒を察する想像力
- 2) 文化や個性の違いを超えて対話し、協調し合う力
- 3) 汎用的な数理・論理的思考力・表現力、問題解決能力
- 4) 倫理性を希求して判断する力

◆ 入学までの学習で身に付けておいてほしいこと

高等学校段階までの学習内容は、医学を学ぶ基盤となるだけでなく、人類の社会・文化・文明についての幅広い素養としてとても大切です。学力検査を実施する教科においては特に、抽象化して考え抜いたことを論理的に表現する力、自然科学の考え方をを用いて新たな問題に主体的に取り組んで解決する力、英語を使って他者を理解し自らの考えを伝える力を磨いておいてください。

◆ 入学者選抜の基本方針と方法

本学科の入学者選抜では、「求める学生像」および「入学までの学習で身に付けておいてほしいこと」を踏まえて、入学志願者に求める力を、高等学校教育の内容・水準に配慮しながら学力の3要素[※]の観点より多面的・総合的に評価します。

学力検査（一次試験）：理科・数学において、数理・論理的思考力、問題解決能力に加えて主体的姿勢を評価し、英語において、異文化理解および英語でのコミュニケーション能力の一部を評価します。（学力の3要素の主に①、②）

面接・小論文（二次試験）：他者を理解し自らの考えを論理的に伝える力、自己を省察する力、さらに、知識を基に状況を理解してどのような行動が適切かを判断する力を評価します。（学力の3要素の主に②、③）

調査書等評価（二次試験）：「求める学生像」に照らして、調査書等のこれまでの学業履歴がわかる書類を評価します。（学力の3要素の主に③）

※ 学力の3要素：①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

2. 募集人員

105名

うち5名は地域への医療に貢献することを期待し、出身高校が属する各地域区分（東京、千葉、神奈川、埼玉以外）から1名を優先して合格とします。ただし、卒業後の進路を拘束するものではありません。本学は全国からの入学生を求めていますので、各地域区分からの多くの応募を期待しています。地域区分は下表の通りです。

A区分	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
B区分	茨城、栃木、群馬、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野
C区分	岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
D区分	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
E区分	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

3. 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者

- 1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者および2025年3月卒業見込みの者
- 2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2025年3月修了見込みの者
- 4) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2025年3月31日までにこれに該当する見込みのある者
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2025年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月31日までに修了見込みの者
 - ④文部科学大臣が指定した者
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2025年3月31日までに合格見込みの者で、2025年3月31日までに18歳に達する者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに18歳に達する者

※出願資格についてご不明な点がある場合は、2024年12月14日（土）までに入試事務室にお問い合わせください。

※受験事前相談について

受験及び修学上の合理的配慮を必要とする受験生あるいは基礎疾患を有する受験生は事前相談をお受けします。必要な方は出願に先立ち2024年12月14日（土）までに入試事務室にお問い合わせください。

4. 出願手続及び出願期間等

- 1) 出願手続は、出願期間最終日までに以下の①～③の手続きをすべて完了する必要があります。

- ① 出願登録（インターネット上で出願情報等を入力・登録する）
- ② 入学検定料の支払い
- ③ 出願書類の郵送

- 2) 出願情報登録期間：

2024年12月23日（月）～2025年1月25日（土）

入学検定料支払い期限：

出願情報登録を行った翌日の23:59まで（ただし、出願情報登録期間の最終日に登録した場合の期限は、当日の17:00まで）

出願期間（出願書類受理期間）：

2025年1月4日（土）～2025年1月25日（土）（締切日消印有効）

※出願手続の詳細は、「**2025年度入学者選抜Web出願ガイド**」を参照してください。

※出願書類は、いかなる理由でも締切後は受理しません。

5. 入学検定料

- 1) 入学検定料は**60,000円**です。
- 2) 入学検定料の支払方法は、Web出願ガイドを参照してください。

※クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの利用：払込手数料2,000円

※コンビニエンスストア、ペイジーでの支払いの場合、払込手数料の他に別途事務手数料200円が必要です。

※ご利用の銀行によって、別途事務手数料が発生する可能性があります。

6. 出願書類

出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトからカラー印刷して提出する書類があります。「2025年度入学者選抜Web出願ガイド」を参照のうえ、遺漏のないよう提出してください。

出願書類	提出上の注意事項
入学願書	①Web出願サイトから医学科を選択し、必要事項を入力したうえでカラー印刷してください。 ②中学校卒業以後、学校の内外で意欲的に取り組んだ諸活動（学業、生徒会活動、スポーツ・文化活動、社会的活動、海外留学等）について具体的に3件以内で記載（任意）してください。記載内容については、二次試験の参考資料とします。
顔写真（データ）	Web出願登録時に顔写真データのアップロードが必要です。事前にデータ（JPEG形式）を用意してください。 ・2024年10月1日以降に撮影した鮮明なもの（カラー写真） ・無帽、無背景（無地の背景）、上半身正面のもの ・試験時間中に眼鏡をかける場合は、眼鏡をかけて撮影したもの ・データ形式は「JPEG」、サイズは3MB以下
調査書	出身学校長が文部科学省の定めた様式により作成し、出身学校において 厳封 したものを提出してください。既卒者は卒業後に発行された調査書を提出してください。ただし、次の各号のいずれかに該当する者は、以下に掲げる書類をもって調査書に代えることができます。なお、成績関係の書類は、発行者において厳封したものでなければなりません。 ①指導要録の保存期間が経過した者、廃校・被災等により調査書を得られない者は、卒業証明書に加えて成績証明書又は単位修得証明書。ただし、成績証明書等が提出できない場合は、学校長からの「発行できない旨の文書」を提出してください。 ②高等専門学校第3学年修了者（見込みを含む）及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（見込みを含む）は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの。 ③高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）合格者は、合格成績証明書（合格証明書は不要）。ただし、受験科目を一部免除された場合は、免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書を添えてください。 ④上記①②③以外の者は、修了証明書（資格証明書）及び成績証明書。 ※証明書は原本を提出してください。資格証明書で原本が一部しか発行できないものは「写し」を提出できます。
在学証明書、卒業証明書（該当者のみ）	大学に在学中、あるいは卒業した者は提出してください。（大学院に在学中、卒業した者も同様）
任意提出書類	提出書類の条件
英語資格・検定試験結果の証明書	対象となる資格・検定試験 ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC 証明書の条件 一次試験受験日の2年前（2023年2月）以降に受験した試験結果の証明書（コピー可） ※4技能のスコア記載があるもの、合格したものに限ります。
※英語資格・検定試験の結果の提出は任意です。調査書と併せて二次試験の参考にします。	

- 書類不備のないよう注意してください。
- 海外の高校を卒業している場合は、「高校卒業後の履歴」に小学校からの略歴をご記載ください。
- 出願書類の記載や提出した資料に虚偽の事実が含まれていることが発覚した場合には、受験資格および合格を取り消すことがあります。入学検定料も返還しません。
- 提出された出願書類および既納の入学検定料は理由の如何を問わず一切返却いたしません。
- 氏名（漢字）の印刷に標準文字（JIS第1・第2水準漢字）を使用するので、置き換えられる場合があります。（例：高一高、崎→崎・・・など）なお、合格証等の記載についても、標準文字（JIS第1・第2水準漢字）を使用しますので、ご了承ください。
- 出願時に登録した理科の受験選択科目は一切変更できません。出願登録時は十分にご注意ください。
- Web出願サイトでは、志願者情報等の確認画面を過ぎると、その後の内容変更はできませんのでご注意ください。
- 出願書類を取り揃えた後、角型2号（角2）封筒に封筒貼付宛名シートを貼付けて簡易書留速達で送付してください。封筒貼付宛名シートはWeb出願サイトから取得してください。
※出願書類が出願期間内に到着しなかった場合は受け付けられませんので、入学検定料支払い後、支払完了メールが届きましたら、速やかに出願書類をお送りください。

7. 受験票

全受験生の入学検定料納入及び出願書類の確認後、一斉にWeb出願サイトに受験票を掲載し、登録されたメールアドレスに「受験票作成完了メール」を送信します。各自でWeb出願サイトからダウンロードし、カラー印刷したうえで、試験日当日に必ず持参してください。

※本学から受験票の発送は行いません。

※2025年2月4日（火）を過ぎてもWeb出願サイトで受験票を確認できない場合は、入試事務室に連絡してください。

8. 一次試験

- 1) 試験は2025年2月11日（火・祝）に実施します。
- 2) 試験の教科・科目、試験時間、配点は次の通りです。

教科	科目	試験時間	配点
理 科	「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」、 これら3科目のうちから2つを選択	午前10時～12時	200点
数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C ただし、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。	午後1時30分～3時	100点
英 語	英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅱ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅲ	午後3時45分～4時45分	100点

※全科目とも記述式による解答方法を用いた試験です。

- ・旧教育課程履修者に対する経過措置について
一次試験において各教科・科目とも、旧教育課程履修者を考慮するものの、特別な経過措置はとりません。
※「旧教育課程」とは、平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいう。

- 3) 一次試験は次の会場で行います。

東京流通センターイベントホール：東京都大田区平和島6丁目1-1
(12ページの案内図を参照して下さい。)

詐欺まがいの行為に注意

一次試験会場付近の駅周辺において、本学職員を装うなどして、受験者に『学生会から連絡する』など言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

試験当日、本学職員が以上の詐欺まがいの行為をすることは一切ありませんので、注意して下さい。

なお、不審者を見たり、声をかけられたりしたら、本学職員（「慈恵医大」の腕章着用）まで連絡してください。

- 4) 一次試験合格者の判定にあたっては、3教科の試験の総合点で決定します。

注意事項

1) 試験前日までの注意事項

- ①試験場（会場階）の下見はできません。

2) 試験当日の注意事項

- ①受験票は常に携帯してください。受験票を所持しない者は試験場に入室することはできません。
- ②午前9時20分までに試験場に入室し着席してください。（午前8時から入室が可能です。時間に余裕を持って到着してください。）午後は、それぞれの試験開始の10分前までに着席してください。
- ③試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内に限り、受験を認めます。
- ④試験当日は監督者・係員の指示に従ってください。
- ⑤換気のために窓を開放する時間がありますので、暖かい服装を持参してください。試験時間中は帽子、サングラスの着用は認めません。
- ⑥昼食は持参してください。

3) 試験時間中の注意事項

- ①受験票は、必ず机の上に置いてください。
- ②試験時間中に机の上に置けるものは、次のとおりです。

受験票

黒鉛筆、シャープペンシル（替芯ケースは不可）

消しゴム

鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）

時計（辞書、電卓、端末、通信等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・タイマーは不可）

眼鏡、目薬、ティッシュペーパー（袋などから中身だけ取り出したもの）

これ以外の所持品について机の上に置くことを希望する場合、監督者に許可された場合のみ置くことを認めます。

- ③試験会場に時計はありませんので各自で持参してください。
- ④試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

定規、コンパス、電卓、下敷き等の補助具

携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、イヤホン等の電子機器類

- ⑤試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験開始前に電源を切ってかばん等にしまってください。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。また、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音や振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、本部で当該試験時間終了まで保管します。
- ⑥耳栓は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- ⑦英文字等がプリントされている衣類は着用しないでください。
- ⑧座布団、ひざ掛けの使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。
- ⑨解答用紙には受験番号、氏名を正しく記入してください。受験番号や氏名を未記入もしくは間違えた場合はその科目の得点は総合点から除外します。
- ⑩試験時間中に発病やお手洗い等必要な場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。身体の具合が悪くなった場合は、救護室での休憩は認めますが、その分の試験時間の延長はできません。また、医師の判断で別室受験を指示することがありますが、診察や移動にかかった時間分の延長は認めません。
- ⑪試験開始後30分間および試験終了前5分間は試験場から退出できません。
- ⑫試験時間中に、監督者が試験場内の巡視を行います。その際に、監督者がマスクや眼鏡等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者等が注意する場合があります。

4) 不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退出を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、当該年度の入学試験の全てを無効とします。入学検定料は返還しません。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ①出願書類へ故意に虚偽の記入をすること
- ②志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること
- ③試験時間中に、カンニング（試験の教科・科目に関係するメモ、コピー等を机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること
- ④試験時間中に、他の受験者に答えを教える等の他の受験者に利する行為をすること
- ⑤配布された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験会場から持ち出すこと
- ⑥解答用紙を試験会場から持ち出すこと
- ⑦試験開始前に、問題冊子を開いて解答を始めること
- ⑧試験時間中に、定規、コンパス、電卓、下敷き等の補助具を使用すること
- ⑨試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、イヤホン等の電子機器類を使用すること
- ⑩試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり解答を続けること

上記以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。事情の聴取など、不正行為の疑いに対処した時間の延長はできません。指示等に従わず、不正行為と認められた場合の取り扱いは、上記の不正行為を行った場合と同様です。

- ⑪試験時間中に、定規、コンパス、電卓、下敷き等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、イヤホン等の電子機器類、および教科書、参考書、辞書等の書籍類を、かばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- ⑫試験時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること
- ⑬試験会場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること
- ⑭試験会場において、試験監督者や係員等の指示に従わないこと
- ⑮その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

入試過去問題活用宣言について

一次試験問題の出題にあたっては、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用または一部改変して出題することもあります。但し、必ず使用するとは限りません。

9. 一次試験合格発表

- 1) 一次試験合格発表は2025年2月18日（火）午後3時に次の方法で行います。
本学ホームページに掲載（<https://www.jikei.ac.jp/>）
- 2) 合格発表の問い合わせには一切応じられませんので、各自で確認してください。

10. 二次試験

一次試験合格者に対して下記のように実施します。

- 1) 試験は**2025年2月21日（金）、22日（土）、23日（日）の3日間**のうち、いずれか1日に実施します。
Web出願サイトで二次試験日程3日間のうち、都合のつかない日を1日のみ申請できますが、受験者数等により希望にそえない場合がありますことを、ご了承ください。3日間どの日でも可能な場合はチェックを入れないでください。
- 2) 二次試験は面接と小論文です。集合日時および集合場所は、一次試験合格発表時に指定します。
- 3) 携帯電話等の通信機能を持つ電子機器類は、係の者からの指示がある場合以外、集合から二次試験終了時まで使用できません。
- 4) 二次試験の時間配分

集合・説明	移動	面接	休憩	小論文
30分	10分	60分	15分	90分

※移動、休憩時間については、多少の変更が生じる場合があります。

- ①集合時刻の30分前より受付を開始します。
- ②集合・説明開始後20分以上の遅刻は原則として受験を認めません。
- ③面接と小論文の間に約15分の休憩があります。この休憩時間を利用して飲料を摂ることができます。
- 5) 二次試験は本学西新橋キャンパス・大学1号館で行います(13ページの案内図を参照してください)。
- 6) 二次試験合格者の判定にあたっては、面接 Multiple Mini Interview (MMI)、小論文、調査書等評価の点数を一次試験の点数に加算し、総合点で決定します。

面接 (MMI) は、6名の評価者がそれぞれ5段階評価します。配点は30点です。小論文は、複数名の評価者が段階評価します。配点は25点です。調査書等評価は、本学のアドミッションポリシーに照らし合わせて、合議により評価します。配点は25点です。

ただし、面接評価または小論文評価が一定の水準以下の受験生については、個別に検討し、本学の医学科教育理念およびアドミッションポリシーに適合しないと判断された場合、総合点に関わらず二次試験で不合格とします。

上記の判定は、入試判定会議で検討し、医学科教授会議での審議を経て確定します。

二次試験配点		
80点	30点	面接 (MMI)
	25点	小論文
	25点	調査書等 ^(※) 評価

※調査書等：調査書、履修証明書などのこれまでの学業履歴がわかる参考書類

11. 二次試験合格発表

- 1) 二次試験合格発表は2025年3月3日(月)午後3時に次の方法で行います。
本学ホームページに掲載 (<https://www.jikei.ac.jp/>)
- 2) 補欠者は順位をつけて発表します。
- 3) 二次試験合格者には合格通知書および入学手続きの案内を速達書留で郵送します。なお、合格発表後に発送しますので、地域によって到着までに2、3日かかる場合があります。
- 4) 合格発表の問い合わせには一切応じられませんので、各自で確認してください。
- 5) 補欠の繰り上げ状況は、本学ホームページでお知らせします。電話での問い合わせには応じられません。

12. 感染症等への対応について

- 1) 学校保健安全法に定める感染症(インフルエンザ・麻疹・新型コロナウイルス感染症等)に罹患し、試験当日までに治癒していない場合、または出席停止期間等が終了していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがあるため、受験できませんのでご注意ください。ただし、学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはこの限りではありません。
- 2) 日頃から基本的な感染症対策を徹底するとともに、体調管理には十分に注意してください。
- 3) 試験会場内では、不織布マスクの着用を推奨します。
- 4) 昼食は持参して自席で食べるようにしてください。
- 5) 感染症対応に伴い受験生の情報を保健所等の公的機関に提供する場合がありますのでご了承ください。

13. 不測の事態が発生した場合の連絡について

入学試験を実施するにあたり、不測の事態により、やむを得ず試験日程・試験時間・試験内容等を変更する場合があります。入学試験に関する最新の情報提供は、本学ホームページ (<https://www.jikei.ac.jp/>) によりお知らせします。

14. 入学手続

合格者は入学手続きの案内に従って、手続きを行ってください。定められた入学手続きを完了しないと、入学の資格を失いますので十分に注意してください。

- 1) 初年度納入金と手続書類の提出

区分	内容	期限
第1段階手続	入学金 100万円	2025年3月7日(金)午後3時まで
第2段階手続	授業料 250万円	2025年3月12日(水)午後3時まで
	誓約書、保証書、写真2枚	

授業料は分納が可能です。その場合は入学手続き時に入学金100万円と授業料半額125万円（合計225万円）を納入し、残額125万円を入学年度の10月末日までに納入してください。なお入学後、10月末日前に退学した場合であっても未納額は納入してください。保証書には保護者の他に独立生計（別住所）を営む副保証人の捺印が必要です。

- 2) 入学後に別途、次の納付をお願いいたします。

- ①学生会経費10万円（在学期間分）
- ②東京慈恵会医科大学医学科保護者会費21万円（入会金および在学期間分の会費）
- ③4年次に予定されている「臨床実習開始前の共用試験」の受験料（33,000円）
- ④6年次に予定されている「臨床実習終了後の共用試験」の受験料（20,000円）
- ⑤同窓会費6万円（卒業時に卒業後10年分）

- 3) 入学手続き後の入学辞退にともなう納入金の返還

2025年3月31日（月）午後3時までに入学辞退についての書類が到着した場合に限り、入学金100万円を除いた納入金を返還します。なお、この期限を過ぎて入学辞退を申し出ても納入金は返還いたしません。

- 4) 補欠者

補欠者は二次試験合格発表と同時に順位をつけて発表します。入学手続き者が募集人員に満たない場合には、補欠者の上位から順位に従って繰り上げ合格を実施します。繰り上げ合格となった補欠者は、速やかにご対応いただくようご協力をお願いします。なお、繰り上げ状況は、本学ホームページでお知らせします。電話での問い合わせには応じられません。

- 5) 合格した者で、卒業見込みを延期された者は本学に入学することはできません。

- 6) 振り込まれた入学金は、「誤操作」「見間違い」等いかなる理由があっても返還いたしません。

15. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「学校法人慈恵大学個人情報保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

- 1) 出願に当たって知り得た氏名、住所、その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- 2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- 3) 上記1)及び2)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- 4) 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教学関係（学籍管理、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

16. 2年次以降各年度の納入金

学費名	金額
授業料	250万円
施設拡充費	130万円
計	380万円

学費は分納が可能です。その場合は4月末日および10月末日までに190万円ずつ納入してください。

17. 特待生制度

- ①入学者のうち入学試験の成績上位5名を特待生とし、初年度の授業料の全額を免除します。
- ②2年次からは前年度の成績上位5名を特待生とし、当該年度の授業料の半額を免除します。

18. 奨学金制度

- 1) 慈恵大学奨学生《10名程度》
 - ①学納金（授業料、入学金、施設拡充費）の全額または半額を貸与するもので、卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
 - ②学納金（授業料、入学金、施設拡充費）の修学支援新制度授業料減免額との差額を貸与するもので卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
- 2) 保護者会互助部会奨学金
 - ①学業の継続のために必要な額（50万円以上10万円単位）を貸与するもので、卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
 - ②学資に充当する50万円を毎年10名程度を限度に給付します。なお、対象は全学年で給付は在学中1回です。
- 3) 本多友彦慈恵医学教育奨励基金
学資に充当する50万円を毎年10名程度を限度に給付します。なお、対象は全学年で給付は在学中1回です。
- 4) 慈恵医師会海外選抜実習奨学金
5・6年次に海外の医療機関で実習する学生、毎年10名程度に20万円以内の奨学金が支給されます。
- 5) 静岡県医学修学研修資金
原則1年生で、将来医師として静岡県内の公的医療機関等に勤務する意思のある者に、年間240万円を貸与します。一定期間勤務するなどの条件で返還が免除されます。
- 6) 千葉県医師修学資金
1～3年生で、将来医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者に年間240万円を貸与します。一定期間勤務するなどの条件で返還が免除されます。
- 7) 公益財団法人ビジョン奨学財団奨学生
5年生で将来、新生児科、小児科（小児外科含む）または産科の医師を志す者に月額5万円を2年間支給します。
- 8) その他
日本学生支援機構などの奨学金へ応募できます。

19. カリキュラムポリシーとディプロマポリシー

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学知識や技能のみならず、自ら求め、自ら学び、社会の変化に応じて発生する様々な問題や異文化と接しながら自らの成長を促す能力を求めた6年一貫カリキュラムです。

- 1) 初年時は、総合教育で人間性や倫理観とともに、一人ひとりの人間の多様性を受け入れて理解することを学び始めます。それは高学年まで続く医学総論や学外実習でより実践的に修得され、さらに臨床実習での患者中心の医療の体験へと続きます。継続的に能力が伸びていることを、実習での態度、ポートフォリオやレポートで評価します。また初年時から少人数でのグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、自律的な学修習慣を涵養します。
- 2) 人は誰しも病に罹る可能性があるとの考えから、低学年から様々な人に会う機会を提供します。早期臨床体験、福祉体験実習、重症心身障害児療育体験実習、地域子育て支援体験実習、在宅ケア実習、病院業務実習、高齢者医療体験実習と学年を経るごとにその経験知が積み上がっていくようにカリキュラムが組まれています。その成果としての道徳性発達はレポートや実習での立ち居振る舞いで評価され、適切なフィードバックによって学びの経験を高めるように工夫されています。国際社会とのつながりを持てるよう、英語教育は1年次から4年次まで縦断的にコースが組まれている他、希望者は海外での実習も可能です。科学的思考力や判断力は、1年次生命基礎科学、2年次基礎医科学、3年次臨床基礎医学や研究室配属でその基盤を身につけた後、臨床現場で自分の学修課題を見出して解決する能力へと活かされます。
- 3) 医学・医療に必要なとされる科学の基本的知識は、臓器別統合カリキュラムによって縦断的・横断的に修得できるようにカリキュラムが構築されており、その成果は厳格に管理された総合試験で妥当性・信頼性を保って評価されます。知識に基づく問題解決能力は口頭試験で評価されます。
- 4) 本学のカリキュラムはコース・ユニット制で構成されており、基礎系臓器別統合カリキュラムと臨床系臓器別統合カリキュラムの2巡構造によって、基礎医学の知識を臨床医学と社会医学に活用できるように構築されています。1～2年次の医学統計学・情報リテラシー、3～4年次のEvidence-

based clinical practiceと進み、臨床実習の場でEBM^{*1}を実践できるような能力を涵養しています。医学の基本的な知識はコンピュータを用いた共用試験医学系客観的能力試験（CBT）で評価され、基本的な臨床能力は共用試験医学系臨床実習前客観的臨床能力試験（OSCE）で評価されます。コミュニケーション能力は1年次のグループ演習や日本語表現法から始まり、臨床実習の場で活かせるように学年ごとに段階的にカリキュラムが組まれています。臨床実習でのポートフォリオ、最終的には共用試験医学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）でその能力を担保します。

- 5) 医師としての適切な態度と行動を身につけるために、1年次から医学総論、学外実習で常に省察とフィードバックの機会を設けており、臨床実習まで継続的な成長を促すようなプログラムです。チーム医療は学外実習で1年次から体験できるようになっています。変化し続ける医療ニーズを体感するため、学外実習で1年次から種々な臨床現場体験を提供しています。また、診療参加型臨床実習では幅広い臨床体験が可能となるような実習病院を選択しています。臨床現場で医療ニーズを感じる力は、ポートフォリオで評価します。

※1 EBM（Evidence Based Medicine：根拠に基づく医療）

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

本学は、医学科達成指針に示す各到達目標を達成した学生に学士（医学）の学位を授与します。

医学科達成指針

- 1) 医学を学び、また研究する際の基本的な考え方を身につけ、自律的に実践する
 - ・人間と社会に対する洞察力
 - ・他者の存在を受け入れてその考えを理解する力
 - ・人類文明がよって立つ自然科学への基本的理解力
 - ・自己主導型学習習慣と自己研鑽能力
- 2) 自己の人間性を高め、倫理的・科学的判断能力を磨く
 - ・豊かな人間性と人類愛
 - ・多様な立場の人々と良好に意思疎通する力
 - ・自分の考えを適切に表現して他者の理解を得ることができる力
 - ・社会人・国際人としての教養とマナー
 - ・国際人の視点と異なる文化を持つ人々と交流する力
 - ・道徳的思考力と倫理的判断力
 - ・探究する心と科学的判断力
- 3) 医学の基本的知識を修得する
 - ・基礎医学および医学に関連する科学の基本的知識
 - ・臨床医学および医療の基本的知識
 - ・国内外の公衆衛生を含む社会医学に関する基本的知識
- 4) 医学の基本的技能を修得する
 - ・医学知識を臨床実践に活用する力
 - ・科学的根拠に基づく臨床推論に裏付けられた診療を実践する力
 - ・基本的臨床能力としての診療手技
 - ・基本的な臨床コミュニケーション技能
- 5) 医師としての適切な態度と行動を身につける
 - ・医師としての使命と責任の自覚
 - ・患者中心の職業的倫理感
 - ・チーム医療に臨む主体性・協調性
 - ・医師としての適切な態度と行動
 - ・変化し続ける医療ニーズに対応するための生涯学習能力

20. 二次試験で求めるもの

面接について

MMI（Multiple Mini Interview）形式で面接を行います。MMIでは、アドミッションポリシーで求められている力について評価するために、評価者と受験者が1対1で話し合いをする対話形式の面接をします。受験者は異なる課題で異なる評価者と会い、合計6つの面接を行います。面接に要する時間は約60分です。

小論文について

面接後に小論文を書いていただきます。他者の考えを理解し、自分でしっかり物事を考え、その考えを他者に分かりやすく伝えようとする力を評価します。課題文を読み、課題文の内容について300字以内でまとめていただきます。次に、課題文を踏まえて、自分の考えを論じていただきます（1,200字以内）。読み手にわかりやすいように書いてください。課題文は随時変えていきます。小論文の試験時間は90分とします。受験者には清書用（提出用）の用紙以外にも下書き用の用紙（回収します）もお渡しします。

21. 過去3年間の入学試験の結果

2024年度	受験者数			合格者数 ^{*1}			入学者数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	1,032	612	1,644	158	72	230	66	39	105
18歳	433	307	740	91	59	150	32	29	61
19歳	305	184	489	47	8	55	23	6	29
20歳	136	55	191	12	3	15	6	3	9
21歳以上	158	66	224	8	2	10	5	1	6

2023年度	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	1,071	669	1,740	140	93	233	60	45	105
18歳	451	340	791	76	66	142	25	30	55
19歳	356	211	567	48	24	72	22	15	37
20歳	134	63	197	6	1	7	6	0	6
21歳以上	130	55	185	10	2	12	7	0	7

2022年度	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	1,087	621	1,708	162	89	251	69	36	105
18歳	479	326	805	94	55	149	40	20	60
19歳	351	191	542	52	28	80	22	12	34
20歳	134	58	192	8	4	12	2	3	5
21歳以上	123	46	169	8	2	10	5	1	6

※1 合格者数は、正規合格者＋繰上げ合格者の総数

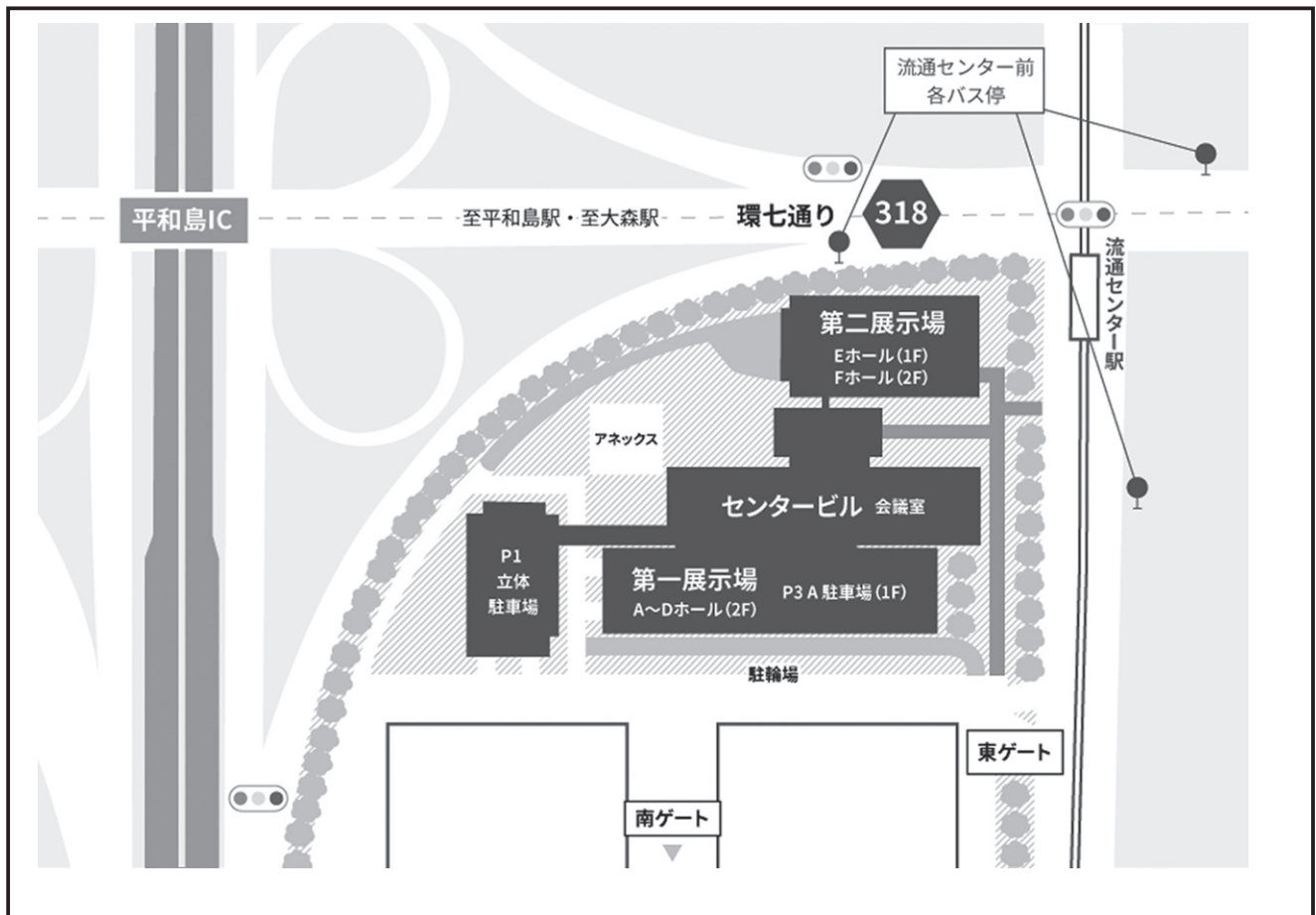
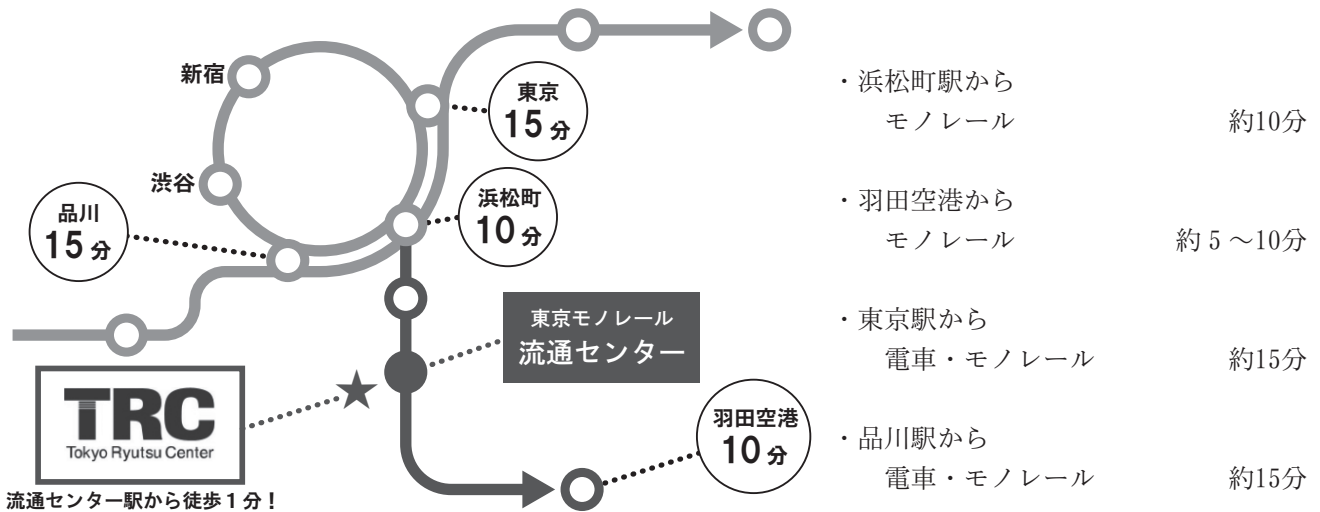
22. 試験会場の案内図

一次試験会場

東京流通センターイベントホール
東京都大田区平和島6丁目1-1

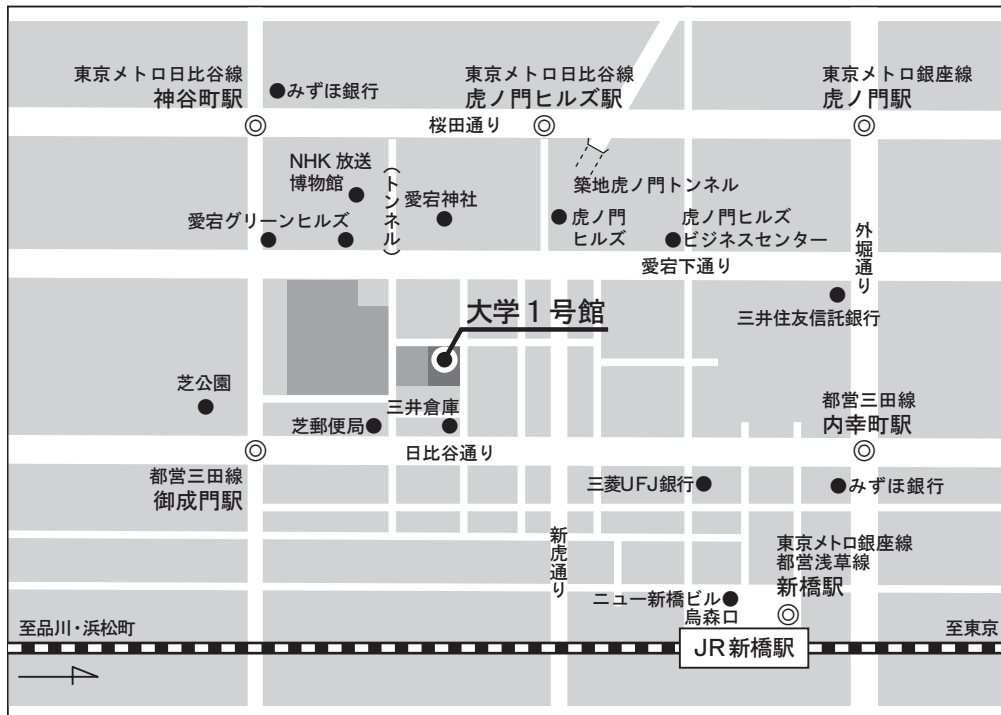
アクセス

<https://www.trc-event.jp/access/>

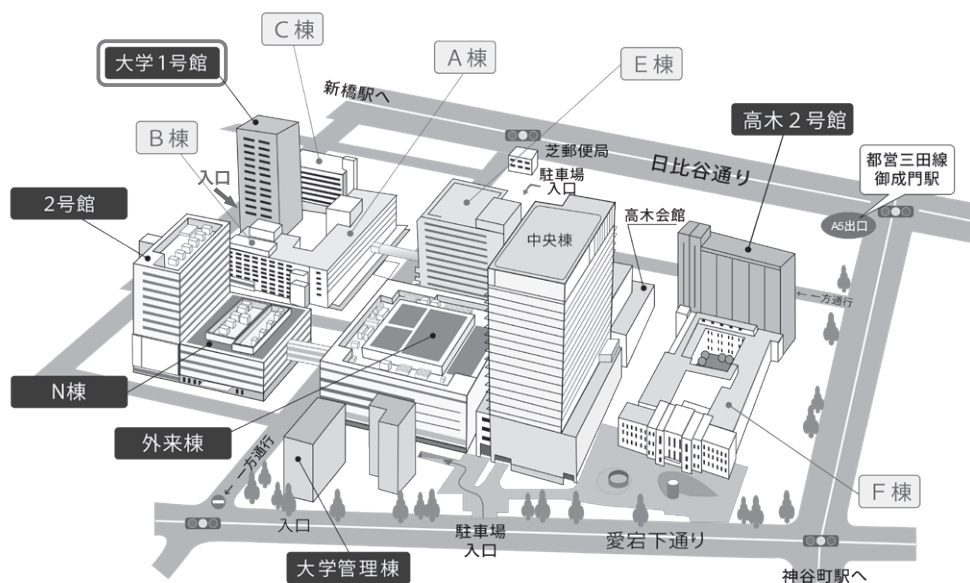


二次試験会場

東京慈恵会医科大学
西新橋キャンパス 大学1号館
東京都港区西新橋3丁目25番8号



- ・ J R 新橋駅下車（烏森口）徒歩約12分
- ・ 地下鉄 都営三田線 御成門駅下車（A5出口）徒歩約3分
内幸町駅下車 徒歩約10分
都営浅草線 新橋駅下車 徒歩約12分
東京メトロ銀座線 新橋駅下車 徒歩約12分
虎ノ門駅下車 徒歩約10分
日比谷線 神谷町駅下車 徒歩約7分
虎ノ門ヒルズ駅下車 徒歩約9分



東京慈恵会医科大学

医学部医学科

問い合わせ先

〒105-8461 東京都港区西新橋3丁目25番8号

電話：0570-053333（入試事務室）